

英語科 学習指導案

枚方市立楠葉西中学校

指導者 奥村 優一

1. 日 時 平成25年10月24日(木) 6校時 14:40~15:30

2. 学年・組 第3学年1組 基本クラス(男子7名、女子7名 計14名) 英語教室24(教室棟2階)

3. 単元名 Unit5 Electronic Dictionaries – For or Against NEW HORIZON Book 3(東京書籍)

4. 単元目標

- 積極的に言語活動に取り組む。
- 過去分詞を用いた文の構造を理解し、表現することができる。
- 本文の内容を理解し、正確に読むことができる。

5. 教材観

本単元では **Starting Out** で、ブラウン先生が紙の辞書を使って単語クイズをする。**Dialog** ではブラウン先生が一郎のもっている電子辞書に興味を示し、それについての会話がされている。**Reading for Communication** では、電子辞書と紙の辞書についての議論が展開される。題材が辞書であるので、言葉の定義の仕方を学ぶ機会になる。また、「電子辞書か紙の辞書、どちらがよいか」という討論をする場面もあるので、自分の意見の伝え方や、相手の意見の受け止め方をトレーニングするのに適した教材である。

本単元では、過去分詞・現在分詞を用いた文の構造を学習する。これ以降の単元で本格的に学ぶ後置修飾の基本となる部分であるので、徹底して習熟させたい。

6. 生徒観

習熟度別少人数クラスの基礎クラスである。クラス分けについては、生徒の希望をアンケートで取り、希望に基づいて決めている。授業では個人での活動もあるが、ペアで活動する機会をできるだけ多く設けるようにしている。このクラスは基本クラスのため、英語を苦手としている者がほとんどである。だが、その中でも教え合いができるように、学力差を考慮し、比較的英語が得意な子と苦手な子とでペアを組ませている。

全体的には活発なクラスであり、教科書の音読、英語の歌やインタビューテストの場面では意欲的に学習に取り組む生徒が多い。友達とコミュニケーションをとることが苦手な者がいるが気を付けて声掛けをすることを心がけている。

全体的に **listening, reading** が得意な生徒が多いが、**speaking, writing** を苦手とする生徒が多い。表現活動に積極的に取り組む生徒が多いので、よい **output** につながるよう、発展的な課題に挑戦させたい。

7. 指導観

本単元では教師が辞書を使って単語クイズをしている場面であるということを踏まえ、発問によって具体的な場面に気づかせ、表現活動につなげる。本時では、実際に教科書の場面と同じように、教師が単語クイズをして、その意味を考えさせ、過去分詞の構造に気づかせたい。また、過去分詞の使い方を定着させるため、インタビューテストを行う。授業の最後には、生徒たちに過去分詞を使った単語クイズをつくらせることで、表現活動につなげたい。

言語材料の過去分詞を用いた文については、過去分詞という表現自体が、日本人になじみが浅いので、本課ではパターンプラクティスをさせることによって、後置修飾の形に慣れさせ、用法、意味とともに定着させたい。そして、次の課では関係代名詞などのより複雑な後置修飾の形も理解できるようにさせたい。

8. 単元の評価規準 は本時の評価

日 コミュニケーション への 関心・意欲・態度	聴 外国語表現の能力	理 外国語理解の能力	言 言語や文化について の 知識・理解
①間違いを恐れずに、積極的に話そうとしている。	①過去分詞を用いた文を使って表現できる。	①本文の内容を正しく理解できる。	① 過去分詞を用いた文の構造を理解することができる。
	②正しい強勢、イントネーション、区切り等を用いて音読することができる。		

9. 指導と評価の計画

時数	ねらい ・ 学習内容	評価規準				評価方法
		コ 関	表 現	理 解	知 識	
第1時 《本時》	○ 過去分詞を用いた文の構造を理解する。 ・ 文法プリントを使ったパターンプラクティス・インタビューテスト	①			①	インタビューテスト 単語クイズ
第2時	○ 現在分詞を用いた文の構造を理解する。 ・ 文法プリントを使ったパターンプラクティス・インタビューテスト		②	①		インタビューテスト
第3時	○ 教科書P54の内容を理解する。 ・ 教科書P54の音読練習		②	①		活動の観察
第4時	○ 疑問詞を用いた文の構造を理解する。 ・ 文法プリントを使った練習問題に取り組む	①			①	
第5時	○ 教科書P55の内容を理解する。 ・ 教科書P55の音読練習		②	①		活動の観察
第6時	○ 教科書P56の内容を理解する。 ・ 教科書P56の音読練習		②	①		活動の観察
第7時	○ 教科書P57の内容を理解する。 ・ 教科書P57の音読練習		②	①		活動の観察
後日	定期テスト 放送問題 内容読解問題 文法問題 英作問題			① ①	①	ペーパーテスト ペーパーテスト ペーパーテスト ペーパーテスト

10. 使用教材

パソコン、プロジェクター、スピーカー、接続コード、デジタル教科書、パワーポイント

11. 本時の学習

(1) 目標

- 過去分詞の意味を理解する。
- 過去分詞を用いた文を使い、表現活動をすることができる。

(2) 展開

学習内容・時間	教師の活動	生徒の活動	指導上の留意点	評価規準との関連	評価方法等
1. Greetings (1)	・簡単なあいさつをする。	・教師のあいさつに答える。			
2. Song (3)	・英語の歌 Hard to say I'm sorry を聞かせる。	・元気よく歌う			
3. Introduction of New Grammar (5)	・教科書 P54 を使った単語クイズによる Oral Introduction	・単語の意味を推測して答える。	・生徒が分からなければ、パワーポイントを用いてヒントをだす。		
4. New Materials	・本時の目標を示す。				
教科書 P54 のブラウン先生のように、オリジナルの単語クイズをつくる。					
① Practice (5)	・例を示す。	・教師と一緒に練習する。			
② Interview Test (25)	インタビューテスト ・ 9つの質問の中から3つをランダムで指定し、制限時間内に言えるかどうかチェックする。	・ ペアの友達と練習し、教師のチェックを受ける。		表① コ①	インタビューテスト ワークシート
③ Making Quiz(10)	・ インタビューテストが終わった生徒に、できるだけ多くの単語クイズをつくるように指示する。	・ 過去分詞を用いた単語クイズをつくり、みんなの前で発表する。	・発表するときに気をつけることを生徒に確認させる。 eye contact clear voice smile		
5. Greetings (1)	・家庭学習、次時の連絡をする。 ・あいさつをする。	・家庭学習、次時の連絡を聞く。 ・あいさつをする。			